

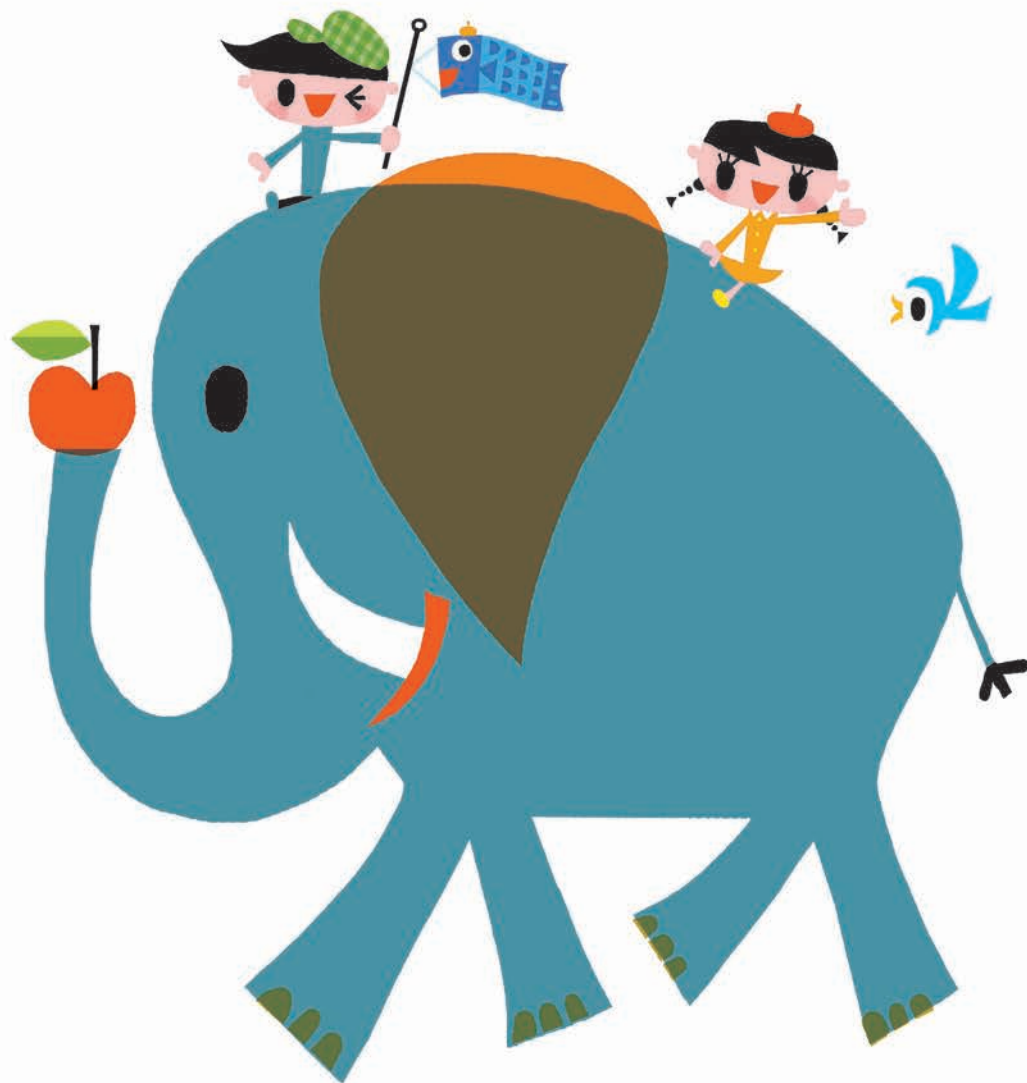
指導のポイント

監修：白梅学園大学大学院／無藤 隆

執筆：共立女子大学／白川佳子(ねらい)

東京家政学院大学／和田美香(導入・展開の言葉かけ)

國學院大學／吉永安里(小学校へのつながり)



『キンダーまなびきっず』は、5歳の時期にふさわしい「考える力」が育つことを目指し、「ことば・かず・くふう」の3つの柱で、子どもたちが楽しく考えることができるようなページ構成になっています。子どもが日ごろの遊びや日常生活の体験をイメージし、自然に無理なく、楽しい気持ちで取り組めるように、「ねらい」「導入・展開の言葉かけ」「小学校へのつながり」のポイントを本書では紹介しています。保育の中で子どもたちと取り組む際に、ぜひ活用ください。

ことば(言葉・文字)

言葉のつかい方や文字の書き方、漢字の成り立ちについて楽しく学びます。

ことば P.6~7 尾音

ねらい 同じ音で終わる言葉を見つけながら語彙を増やすとともに、道をたどって直線を引く練習にもなります。

導入の言葉かけのヒント

「おいしそうなかしわもちね。最後の文字は何か？」と尾音への気づきを促します。「最後に「ち」がつくものはどれかな？」と絵を楽しみながら探すとよいでしょう。

展開の言葉かけのヒント

「最後に「ち」のつく言葉が、みんなを待っているよ。さあ、道路を走って見つけにいこう」と誘います。一つひとつの文字を指でなぞりながらいっしょに発音すると、視覚からも確認でき、わかりやすいでしょう。最後の文字の発音を少し強めにすると、尾音に気づきやすいでしょう。

● 小学校へのつながり

尾音への意識は、詩のような韻文を読んだり書いたりする国語の学びにつながります。また、ともだち→ちから→ランチ→ちゅうごく→くち…などと同じ尾音を繰り返す高度なしりとりが楽しめるようになります。



もじ P.10~11 ひらがな

ねらい それぞれの言葉を声に出して読んだり、文字をなぞったりしたあと、ひらがな書きにもチャレンジしてみましょう。

導入の言葉かけのヒント

「スタートは①のところだよ。矢印が、書く順番を教えてくれているね」と誘います。筆順と鉛筆の持ち方は、文字を書く最初の段階から気をつけるとよいでしょう。

展開の言葉かけのヒント

「曲がっているところと、まっすぐなところがあるね。曲がっているところはスピードが出て、はみ出しやすいから気をつけてね」「止めるところ、はねるところ、払うところもあるから、よく見て書こうね」と声をかけ、落ち着いていねいに書くことを楽しめるようにするとよいでしょう。

● 小学校へのつながり

「曲がり」と「反り」の運筆の違いや、終筆の「止め」と「払い」などの筆先の力の入れ方、抜き方への意識が、小学校の文字学習につながっていきます。



かんじえほん P.14 木・川

ねらい 絵を見ながら漢字の成り立ちに気づき、1年生で習う漢字に興味をもってもらうことを目的としています。

導入の言葉かけのヒント

「緑の木の中に漢字が隠れているよ。わかるかな?」「川の水の流れが、漢字になっているよ。見つけられるかな」と、クイズのように取り組むと興味をわくでしょう。

展開の言葉かけのヒント

「漢字って、どうやってできているのかな。上の絵と下の漢字は、似ているところがあるよ。どこが似ているかな?」と、漢字の成り立ちに気づけるような言葉かけるとよいでしょう。数字の順番を見て「1、2、3、4」と筆順を言いながら、文字を指でなぞってみましょう。

● 小学校へのつながり

小学校では、「払い」と「止め」の力の入れ方、抜き方を意識して字形をととのえて書くことが求められます。幼児期には漢字の元の形を想像するなど、漢字の成り立ちに興味をもてるようにしましょう。



かず (数量・図形)

思考力や認識力の礎となる、数や図形の基本的な概念について楽しく学びます。

すうじ P.18~19 数字(6~10)

ねらい 絵探し遊びを楽しみながら6から10までの数をかぞえたあと、6から10までの数字を書く練習をします。

導入の言葉かけのヒント

「ブタさんがお庭をお散歩しているよ。見つけられるかな?」「全部で何頭いるかな?」と絵を楽しみながら誘い、指で押さえながらいっしょにかぞえるとよいでしょう。

展開の言葉かけのヒント

数が増えると、一度かぞえたものを再度かぞえてしまうことがあるので、鉛筆で丸をつけながら、かぞえたかどうか一目でわかるようにするのもよいでしょう。「1、2、3…」と声を出していっしょにかぞえると、視覚と聴覚から認識できるようになり、確認しやすくなるでしょう。

● 小学校へのつながり

絵探しをしながら数の操作が楽しめるよいでしょう。3と4で7のような数の合成は足し算に、5と2で7のように5の塊を意識した数の捉え方はくり上りの足し算の学習につながっていきます。



かず P.20~21 集合(仲間分け)

ねらい 色や模様などの属性のヒントを手がかりに絵探しを楽しみながら、属性の違いを認識していきます。

導入の言葉かけのヒント

「たいへん! お友だちが迷子になっちゃったよ……どこにいるかな。いっしょに探そう!」と声をかけ、「洋服は?」「めがねは?」と確認しながら、一つひとつ見ていきましょう。

展開の言葉かけのヒント

3つの条件がそろわない場合でも、あわてて「あった」と回答する場合があります。その場合は「似ているお友だちがいるから、違う子を探さないでね」と注意を促し、3つの条件に注目できるようにします。色鉛筆などをつけて、条件を色分けしながら印をつけてもよいでしょう。

● 小学校へのつながり

色や模様など属性の違いをわかりやすく伝えようとすることで、語彙力や表現力が促されます。特に形を何かにたとえる比喩表現は、国語の文学教材の読みの学習にもつながります。



かたち P.26 点つなぎ(1~10)

ねらい 1から10までの数字を線でつなぐとどんな絵が完成するのか、想像しながら楽しみましょう。

導入の言葉かけのヒント

「あれ、何か隠れているかな。これはしっぽかな? 目もあるみたいだね」と絵に興味をもつような言葉をかけ、「数字の順番に線でつないでみよう」と誘います。

展開の言葉かけのヒント

点と点の間隔が少し広い部分など、途中で鉛筆を持つ手が迷ってしまう場合には、「次の点はこっちかな」と、指で線を引くところをなぞり、到達地点を示すとわかりやすいでしょう。「だんだん隠れていた動物が出てきたね」と励ますと、楽しみながら集中して取り組みます。

● 小学校へのつながり

数字を認識し、点と点をつないだ線を想像しながら直線を書くことは、文字を書く力の基礎ともなります。左から右、右から左、上から下、下から上と手首を柔軟につかって書けるようにしましょう。



くふう (思考・創造)

自ら考え創意工夫する力(思考力・創造力)を養い、小学校での学びの土台を育みます。

くふう P.28~29 弁別

ねらい 上と下の絵をよく見比べることによって、同じものと違うものを見分け、識別する能力を養います。

導入の言葉かけのヒント

「上にも下にもライオンとトラとワニがいるね。でも、違うところがあるみたいだよ。どこが違うかわかるかな?」と、クイズを楽しむような言葉かけるとよいでしょう。

展開の言葉かけのヒント

なかなか見つけられない場合は、右上、右下、左上、左下のようにスペースを区切って探してみるとよいでしょう。さらに「トラの顔は違うかな?」「ワニの口はどうか?」と注目する場所を決め、おともいっしょに考えながら見比べると、集中して探すことができるでしょう。

● 小学校へのつながり

違いがあると認識し、その違いを説明するには、形を捉える力とそれを表現する語彙が必要となります。算数の図形の理解や国語で求められる表現力の向上につながります。



くふう P.30~31 空間認識

ねらい 場所や位置を把握し対応させて、一つひとつの場所を確認しながら、空間を認識する能力を育みます。

導入の言葉かけのヒント

「バスに乗ってお出かけするんだって。どこに行くのかな?」と興味を促し、「お母さんと同じ場所がいいよね。子どもの席を探してあげようね」と上下を見比べます。

展開の言葉かけのヒント

ぱっと見て「ここ!」とわかる場合でも、わかった後に上下の位置や、何番目というような順序を示して確認するとよいでしょう。そのように確認していくと、数が増えてもわかるようになります。「出発前に、先頭さんからもう一度確認ね」と、最後に見直するのもよいでしょう。

● 小学校へのつながり

上下、左右といった位置や、左から何番目、右から何番目という順序を理解したりすることは、算数の順序数の理解につながります。



くふう P.32~33 関連性

ねらい 物の関連性を認識しながら迷路遊びを楽しむとともに、道をたどって直線を引く練習にもなります。

導入の言葉かけのヒント

「花の名前、どれくらい言えるかな?」と、クイズから取り組むとよいでしょう。「たくさん言えたから、次は仲間がしの迷路に挑戦だよ」と誘ってみましょう。

展開の言葉かけのヒント

「仲間のところに行くには、まっすぐな道を探して通ってね」と声をかけ、直線でたどり着くように声をかけます。「仲間はどこかな」「見つけられたかな」と探しながら、「道は細いから、落っこちないように気をつけてね」と、ていねいに直線を引くよう声をかけるとよいでしょう。

● 小学校へのつながり

物事の関連性を理解し分類する力は、互いの考えの共通点や相違点を見つけながら自分たちの力で話し合うような、小学校の授業で求められる基礎的な話し合いの力にもつながります。

